

求められる看護職として

急速な高齢化と医療の高度化の中で、増大する国民の医療ニーズに応えるために、患者さんにも最近の立場にいる看護職がその専門性を生かし、自律的に判断し行動することが求められています。



常任理事 勝又 浜子

このようなか、日本看護協会は看護の質の向上を目指し、一貫して看護基礎教育の充実に取り組みしてきました。特に准看護師養成については、看護師養成に転換し、養成を一本化することが不可欠と養ってきました。このため、現在就業中の准看護師の皆さんが看護師資格の取得を目指すことができるよう、2年課程(通信制)進学者への奨学金を設けています。

先般、通信制を卒業された看護師として勤務する方々にお話を伺う機会がありました。それぞれ動機は異なりますが、「看護には、基本となる科学的根拠があることを学んだ」「次にどのよう看護が必要か予測でき楽しかった」など、進学の成果を実感されていました。また、進学には「職場の看護管理者や同僚の励ましと理解が重要」との意見も伺いました。

都道府県看護協会では、准看護師の皆さんへのニーズに応え、研修をどんどん企画・実施しています。ぜひご参加いただき、看護協会の会員となって共に活動していただくことを希望します。

医療ニーズの増大に合わせ、看護職にはさらなる役割発揮が求められている。そのような中、准看護師は就業場が多様かつ小規模施設の場合も多く、資向上や進学にはさまざまな工夫や支援が必要だ。本特集では、それぞれの状況やニーズに合わせた取り組みを紹介する。

ニーズに合わせた研修を開催

～大分県看護協会・准看護師研修～

大分県看護協会は、以前は全国と同様に、准看護師の研修参加が少なかったが、県の補助事業(地域医療再生基金)で診療所の看護職員対象の研修などを開始したことで、准看護師の参加が増加してきた。そのような中、2015年1月から始まったのが、年間を週して行う「准看護師研修」だ。

どこに動いても学習できるように

「小規模の病院・診療所・施設などの看護職に研修の機会を、と考えました」と松原啓子会長は、立ち上げの意図を語る。中小規模施設では看護協会の非会員が多いため、独自に研修体制を整えることが難しい実情もある。そうした施設に勧める准看護師たちが研修を受けるチャンスが少ないことが気になっていた。



右から時計回りに、松原会長、原田看護部長、県看護協会研修部の西山淑子さん、竹中愛子常務理事

共に高めよう！看護の力！ ～准看護師スキルアップ特集～



ことし1月の認知症高齢者への対応がテーマの研修には70人余りが参加した

研修立ち上げにあたり着目したのが、地域医療介護総合確保基金(基金)の活用だ。県下全体の看護の質向上のため提案したところ県行政も全面的に賛同し、基金を活用した限事業としての実施が決まった。

准看護師は非会員の割合が高く、県協会の研修を活用していない施設もある。県事業として、県行政からの推薦文を添え、各施設に今回の開催通知を付したことで、施設長などから参加の理解を得やすい環境をつくることができ、企画にあたっては、どのような内容や開催形式が求められているかニーズを把握し、1年間を通したシリーズの研修を立案した。

15年1月の初回は、県内全域から100人を超える申し込みがあることが多く、1時間後に設定した。運営担当者は、休憩時間に声掛けしては、日常の業務や進学に関する相談にも乗るなど、細やかに気を配る。

な工夫の、実施されている。研修の大きな特徴は、毎月1回・全12回のシリーズになっているという点だ。年間プログラムには、認知症高齢者の行動制限の最小化や転倒・転落予防、認知症高齢者の退院支援や在宅療養支援、感染予防や医療安全対策など、すぐに実践しにかかせる魅力あるテーマが並び、県内外で活躍する講師を招く。

開催日は、受講しやすさを考慮し、地域の医院などが休診であることが多い水曜午後を設定した。運営担当者は、休憩時間に声掛けしては、日常の業務や進学に関する相談にも乗るなど、細やかに気を配る。研修は情報発信の場としても有効だ。受講者の要望を受けて進学に関する情報を提供したり、演習用シミュレーターへの貸し出しを案内するなど、県協会を請ねることで、研修の間に

最新の情報は得られる仕組みになっている。受講者の6割が看護協会の非会員だが、看護職賠償責任保険制度や研修情報などを紹介したところ、10人以上が新たに加入した。こうした数々の工夫があって、研修にはこの1年だけで、延べ765人もが参加した。受講者の約7割が複数回受講していることから満足度の高さうかがえる。

「ニーズに合った研修、ありがたい」

「准看護師研修」の開催は、施設側も待ち望んでいた。東大東部にある津久見市医師会立津久見中央病棟の原田智子看護部長は研修の案内を見て、シリーズ化されていることで系統的に知識や技術が身に付くことに着目。さらに、県事業であることが病棟へ層にも参加への理解が得やすく、また、受講者の動機付けにもなる看護の質向上を目指す中で始まった准看護師研修は、当事者のニーズに沿った研修として多くの受講者を迎えている。「看護協会をリソースとしてどんどん活用してもらいたい」と松原会長。これから県看護協会をあげて一人一人の資向上を支援し、施設の研修計画の一部として役立つ研修の企画・実施に力を入れていく。

Interview with 後藤利香さん (後藤利香さん 徳島県立中央病院) and 那須智美さん (那須智美さん 徳島県立中央病院) about their experiences with the training program.

と考えた。「意志を持って挑戦し、新しい自分を発見してほしい。そのためには単発ではなく、全部出ることが大事」と、3年間かけて准看護師職員全員を参加させることに決めた。受講は勤務扱いで、交通費も病院の負担だ。看護管理者として、学ぶ環境を提供することが重要という考えの下、この研修に限らず、研修に出た職員にはレポート提出を課している。原田看護部長自らコメントを返し、研修を自施設での教育の一環と位置付けて活用している。

准看護師は勤続年数が長い職員も多い。そうした職員が新たな学びを得ることで、院内の看護実践に良い影響が生まれることを原田看護部長は期待している。実際に、研修内容が病棟の定例会で発表されるなど、学びが共有されている。

Interview with 後藤利香さん (後藤利香さん 徳島県立中央病院) about her experience with the training program.

いろいろ使える！看護協会事業 活用術

安心して働くために活用！看護職賠償責任保険制度... 看護職賠償責任保険制度... 看護職賠償責任保険制度...

最新知識を研修で獲得！日本看護協会ではインターネット配での研修も行っています。個人もしくは施設単位で申し込みができます。パソコンやスマートフォンを使って繰り返し受講が可能です。

労働条件などに関する相談... 准看護師から看護師になった際に、給与が下がったという相談なども寄せられます。労働者の同意なく賃金などの労働条件を変更することは、労働契約法第9条に違反します。

進学のための活用！交流会で具体的な情報収集... 都道府県看護協会で行っている、進学生望者や支援者するための研修や進学者経験者の交流会に参加すると、進学のための基礎情報や仕事との両立のコツなど、具体的な情報を得ることができます。

Information about the association's support services, including a helpline and contact details for the support center.

Information about the association's scholarship program and training opportunities for nursing students.

経歴者に聞く 通信課程進学レポート

「進学して得られたのは、看護師免許だけではありません。看護職だけでなく人生観も変わりました」と話すのは三富健矢さん。

精神科病棟で退院支援に携わる中、次第に急性期や退院後の患者に関心を持つようになっていた。しかし、精神科の高度な知識や家族・行政との連携、調整技術が求められる。三富さんは、自分の希望をかなえるために看護師資格を取得しようと思うようになった。

「看護に根拠を持ちたい」

進学前、准看護師として働いて10年になろうとしていた三富さん。患者との関わりや先輩への指導の中で、病態生理などの専門知識の不足を感じ、「自信を持って根拠に基づく看護をしたい」と思うようになった。また、精



右から講師 三富さん、准看護師 小山田さん、看護師 山田さん

進学を迷う理由の1つだった。そうした懸念を取り払ってくれたのは、院内に多くいる進学経験を持つ先輩たちのアドバイスだった。今とほとんど生活を交わすに、仕事し、収入を得ながら学習できるとイメージできたことで、三富さんは通信制への進学を決めた。

「病院全体で進学を応援」

長年、三枚橋病院では職員が専門職として長く活躍するための協力は惜しまない理念とスキルアップする職員を応援する風土があり、独自の取り組みを行ってきた。

「仕事と学業 両立の秘訣」 現在もこの仕組みを使って進学中の職員がおり、これから進学を目指す職員も控えているという。

「仕事と学業 両立の秘訣」

「進学しても、仕事も家族との時間も大切にしたい」と話す三富さん。

三富さん流 時間をくり出す4つのコツ

「時間の管理を徹底」 スケジュール管理のため手帳を購入し、あいまいな時間を徹底管理。学習時間を確保し、早起きを習慣づけ、朝のうちに課題は済ませる。

「勤務の隙間時間を活用」 「交代制勤務は工夫次第で時間が増える」と三富さん。時間の融通が利く土・日曜に夜勤。夜勤の休憩時間も先陣に質問するなど有効活用。

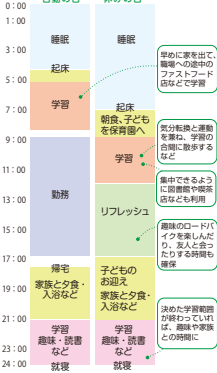
「家族や趣味は削らない」 妻と、家事・育児の重複を整理。朝は早起きして学習。入浴は家族で過ごす。勉強は決めた時間内にするなどメリハリを意図。

「集中できる環境づくり」 家には幼い子どもがいるので、集中できる学習場所を確保。ファストフード店や院内の空き部屋を開放してもらって出勤前や勤務後に学習。

進学にあたり、時間の使い方も生活を大きく見直した。家族や職場も快く進学中の生活を支えてくれた。

Interview with 三富健矢さん (三富健矢さん) about his experience with the training program.

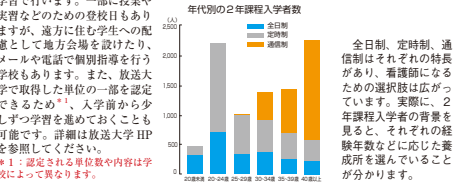
三富さんある日のスケジュール



Q&A 早分かり！2年課程

Q1 看護師学校養成所2年課程とは？ A1 准看護師から看護師を目指すための、2年間の養成所(通称・進学コース)です。卒業すると看護師国家試験受験資格が得られます。2015年度は、約9,000人の准看護師が看護師を目指して進学しています。

Table comparing the 2-year course with the 3-year course in terms of curriculum, exam dates, and graduation requirements.



※1：認定される単位数や内容が学校によって異なります。